

2 0 2 5 年度業務実績報告書

提出日 令和 8 年 1 月 17 日

1. 職名・氏名 教授 河部壮一郎

2. 学位 学位 博士、専門分野 理学、授与機関 東京大学、授与年 2013 年

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 脊椎動物の進化（2 単位）1, 2, 3 年；生物進化学（2 単位）M1, M2 年；地球環境史学（2 単位）M1, M2 年；古生物学専攻演習 I（2 単位）M1 年；古生物学専攻演習 II（2 単位）M2 年；古生物学専攻実験 I（2 単位）M1 年；古生物学専攻実験 II（2 単位）M2 年
②内容・ねらい 恐竜をはじめとした古生物の進化の流れを理解するとともに、古生物から引き継がれた現在の動物の形態の機能的意義を理解する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 できるだけ広い分類群を扱うことで、興味をより持ちやすくしている。
(2)その他の教育活動
内容 ・ 福井県立恐竜博物館でのセミナーや展示解説 ・ 「高大接続イベント」の実施

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
① 著書	
「恐竜学」, 共著, 2025 年, 東京大学出版会	
「恐竜の時代—中生代—」, 共著, 2025 年, 共立出版	
	【2 本】
② 学術論文 (査読あり)	
1. <i>Psittacosaurus houi</i> , a longer snouted psittacosaurid from the Lower Cretaceous Lujiatun Unit of Yixian Formation, China, with the synonymy of the unresolved genus <i>Hongshanosaurus</i> revisited. 共著 (Ishikawa, A., Zheng, W., Imai, T., Hattori, S., Shibata, M., <u>Kawabe, S.</u> , Jin, X.), PeerJ (13), 2025 年 7 月	
2. Photon-Counting Detector CT Scan of Dinosaur Fossils: Initial Experience. 共著 (Wakabayashi, T., Takata, K., <u>Kawabe, S.</u> , Shimada, M., Mugitani, T., Yachida, T., Maruyama, R., Kanai, S., Takeuchi, K., Kotsuji, T., Tateishi, T., Hyodoh, H., & Tsujikawa, T.), Journal of Imaging (11), 2025 年 6 月	
	【2 本】
③ その他論文 (査読なし)	
	【0 本】
④ 学会発表等	
1. イグアノドン類における脳および内耳形態について, 日本古生物学会第 175 回例会 (2025 年 12 月), 共同 (陣内香苗・柴田正輝・ <u>河部壮一郎</u>)	
2. ダチョウの鼻腔における冷却効果—非鳥類型恐竜類の体温調節の解明を目指して—, 日本古生物学会第 175 回例会 (2025 年 12 月), 共同 (土田真誓・山本啓太・藤本雅則・ <u>河部壮一郎</u> ・今井拓哉・多田誠之郎)	
3. <i>Mesodermochelys undulatus</i> の頭骨形態と分類学的再検討, 日本古生物学会 2025 年年会 (2025 年 6 月), 共同 (多田誠之郎, 平山廉, <u>河部壮一郎</u> , 池田忠広, 田中公教)	
4. 上部三畳系成羽層群から魚竜化石の発見, 日本古生物学会 2025 年年会 (2025 年 6 月), 共同 (加藤敬史, 湯川弘一, 柴田正輝, 碓京子, 出山康代, <u>河部壮一郎</u> , 嶋田真人, 立石敏樹, 若林 佑, 辻川哲也)	
5. 石川県白山市の手取層群桑島層 (下部白亜系) から見つかったゴビコノドン科真三錐歯類, 日本古生物学会 2025 年年会 (2025 年 6 月), 共同 (楠橋 直, 伊左治鎮司, 大塚健斗, 今井拓哉, <u>河部壮一郎</u>)	
6. 角竜類のクチバシにおける角質分布域の推定, 日本古生物学会 2025 年年会 (2025 年 6 月), 共同 (坂根広大, 高桑祐司, 田上 響, <u>河部壮一郎</u>)	
7. 大分県宇佐市の津房川層 (鮮新統) より産出したワニ椎骨化石に見られる異常構造, 日本古生物学会 2025 年年会 (2025 年 6 月), 共同 (佐野瑞穂, 野田昌裕, 片田はるか, 飯島正也, <u>河部壮一郎</u>)	
8. パレオパラドキシア瑞浪釜戸標本の復元と展示, 日本古生物学会 2025 年年会 (2025 年 6 月), 共同 (安藤佑介, <u>河部壮一郎</u> , 新村龍也, 小田 隆, 徳川広和, 北川博道, 甲能直樹)	
9. ウミネコにおける気嚢形態の 3 次元デジタルイメージング, 日本古生物学会 2025 年年会 (2025 年 6 月), 共同 (古谷柊二, <u>河部壮一郎</u> , 岩見恭子, 富田直樹)	
10. シンクロトロン放射光を用いた X 線 μ CT 法による <i>Fukuisaurus</i> の歯冠セメント質の組織学的解析, 日本古生物学会 2025 年年会 (2025 年 6 月), 共同 (幸地 佑, 河部壮一郎, 今井拓哉, 柴田正輝, 星野真人, 上杉健太郎)	
11. 化石および堆積岩に対する X 線・中性子線イメージングの適用性評価に向けて, 第 1 回 Q-ONDA 研究会 (2025 年 6 月), 単独	
	【11 件】
⑤ その他の公表実績	
1. Dinosaur Research in the Digital Age, 14th Congress of the International Society	

of Forensic Radiology and Imaging (2025 年 5 月), 単独 2. X 線 CT スキャンを用いた恐竜研究, 日本分子イメージング学会第 19 回 総会・学術集会 (2025 年 5 月), 単独 3. 恐竜研究と 3 D イメージング, Ai 情報センターシンポジウム A i センターが日本社会にもたらすもの (2025 年 5 月), 単独 【3 本】
(2) 科研費等の競争的資金獲得実績
科研費基板研究 B (共同)「絶滅恐竜類の社会性形成における、鳴き声による種内意思疎通の評価」2023～2025 年度 科研費基板研究 C (代表)「恐竜における脳と頭骨の形態的共変化の解明」2021～2025 年度 科研費挑戦的研究(開拓) (共同)「ロボット工学が飛行の起源の謎を解く―鳥類を用いた実証研究」2024～2026 年度
(3) 特許等取得
(4) 学会活動等
・ 日本古生物学会評議員／常務委員

5. 地域・社会貢献活動

- 研究員、福井県立恐竜博物館、2018年～

6. 大学運営への参画

(1)補職

(2)委員会・チーム活動

学生支援委員会 委員

教職部会 委員

時間割・共通科目検討協議会 委員

(3)学内行事への参加

- オープンキャンパス（8月）

(4)その他、自発的活動など